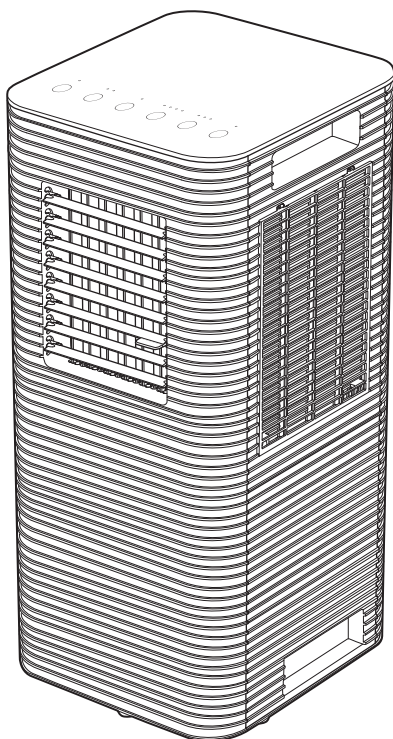


ポータブルクーラー SCY-01

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P1 ~ P2
各部の名称とはたらき	P3
使用前の準備	P4 ~ P5
正しい使いかた	P6 ~ P9
お手入れと保存	P10 ~ P11
修理・サービスを依頼する前に	P12 ~ P13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P14
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

本機は部屋用のエアコンとは違って部屋全体を冷やすことはできません。
特に冷房機能を使用するときは、付属の排熱ダクトを適切に設置して、排熱を部屋の外に出すようにしないと、室温が上がります。

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	340/400 W 50/60Hz(30℃、RH60%) ^{※1}
冷風温度	周囲温度 -10℃ (27℃、RH47%) ^{※2}
除湿能力	7L/日 (50Hz)、8.5L/日 (60Hz) (27℃、RH60%) ^{※3}
水タンク容量	約 3.0 L (約 2.6 Lで自動停止)
運転条件	温度: 15℃~42℃ / 湿度: 湿度30~90%
電源コード長さ	約 2.0 m
外形寸法	約 幅 25 × 奥行 27.5 × 高さ 58 cm (突起部・付属品含まず)
質 量	約 14.1 kg (本体のみ)

※1 定格消費電力は室温30℃、相対湿度60%を持続する室内で運転したときの数値です。

※2 室温27℃、相対湿度47% 運転条件:冷房運転(強運転時)。

※3 除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転したときの1日あたりの数値です(除湿運転時)。

● 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 禁止	アース線をコンセントに挿入したり、接触させない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		油や可燃性ガスなどを使用したり、燃える恐れのある場所へ設置しない。 火災の原因になります。		
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。自分で意思表示ができない人、自分で操作できない人は、使用しない・使用させない。 けが・感電の原因になります。		湿度が高い状態で使用するときは、電源プラグのアース線を接地する。 アースが接地されていない状態で万一故障・漏電した場合、感電の原因になります。特に湿度が高い状態で使用する場合、接地させてください。		製品のお手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 指示	2極コンセント(アースなし)の場合はアースありのコンセントまでの長いアース線、もしくはアース工事が必要になります。販売店に相談してください。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。		電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込み、コンセントを単独で使用する。 感電・ショート・発火の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
				 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。	 禁止	運転したまま移動させない。 故障の原因になります。 また移動させる前には、水タンクの水を捨ててください。	 禁止	本体に座ったり、のったりしない。 ものをのせたりしない。 破損・故障・転倒の原因になります。
	アースは正しく設置させ、電源プラグより先に取り付け、電源プラグのあとに取りはずす。 感電の原因になります。		不安定な場所・水平でない場所で使わない。 けが・故障・水もれの原因になります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	水タンクの水はこまめに捨てて清潔にしておく。 満タンにならないからと捨てずにおくと、異臭などの原因になり、さらに転倒したときなど感電の原因になります。		電源コードの上に本体をのせない。 電源コードが傷つき、火災・感電の原因になります。		ガードの中やルーバー部に指などを入れない。 けが・破損・故障の原因になります。
	吸気口フィルターをはずしたまま運転しない。吸気口フィルターに付いたホコリはきれいに取り除く。 本機内部に異物が入る原因になります。フィルターが汚れていると、効率的に送風されません。		次のようなところでは使わない。 ●コンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●湿度が異常に高いところ ●油や薬品、有機溶剤などを使用しているところ ●金属粉や砂ぼこり、綿ほこりなどが多いところ ●直射日光の当たるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電・故障・運転停止の原因になります。		特別な用途(食品・薬品・学術資料の保存など)・業務には使用しない。 本機は一般家庭用ですので、特別な用途には使用できません。保存品の劣化の原因になります。
 禁止	吸気口フィルターを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。	 禁止	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。	 禁止	水タンクの水は飼育用、飲料用に使用しない。 健康を害する原因になります。
	熱交換器(吸気口から見える金属部分)には触れない。 皮膚に悪影響やけがの原因になります。また変形すると効率が悪くなります。		ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になります。		送風口・吸気口・排熱口をふさがない。 発熱・発火の原因になります。
	消臭剤やエアコン洗浄などのスプレーを使用しない。 故障の原因になります。				

各部の名称とはたらき

操作部

① 電源ランプ

運転のときに点灯します。

② 冷房ランプ (H・L)

冷房運転のときに強(H)・弱(L)が点灯します

③ 除湿ランプ (F 満水ランプ)

除湿運転のときに点灯、満水ランプは、水タンクの満水時に赤色点灯します

④ 切タイマーランプ (1H・2H・4H・8H)

切タイマーがはたらくまでの時間が点灯します

⑤ 送風ランプ (H・M・L)

送風運転のときに風量 強(H)・中(M)・弱(L) が点灯します

⑥ スイングランプ

送風口のルーバーが動いている(スイング運転)ときに点灯します

① 電源ボタン

運転の開始/停止をします

② 冷房ボタン

冷房の強運転(H)・弱運転(L)を設定します

③ 除湿ボタン

除湿運転をします

④ タイマーボタン

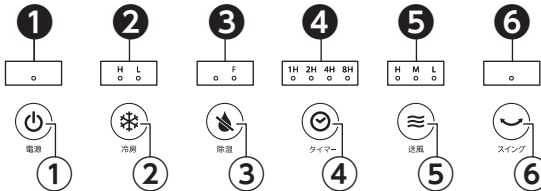
切タイマーの時間を設定します

⑤ 送風ボタン

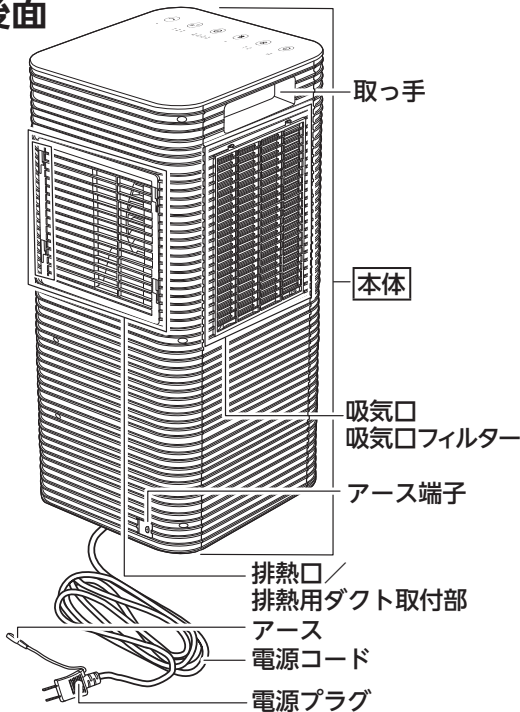
送風のみの運転・風量の設定をします

⑥ スイングボタン

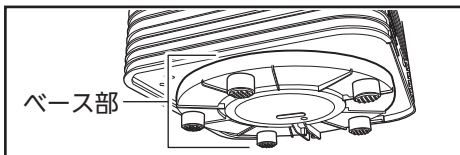
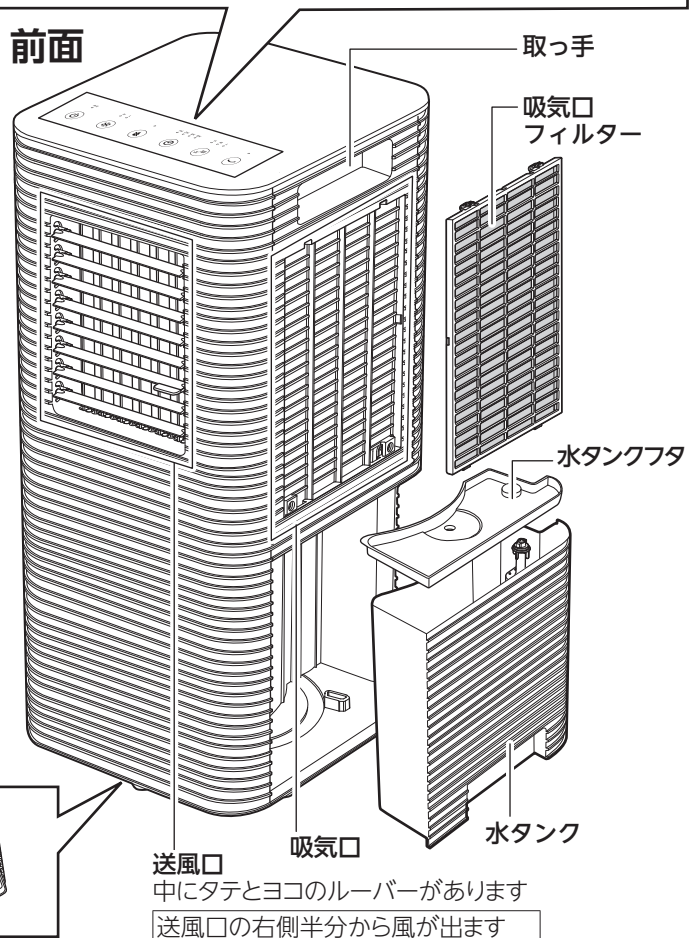
送風口のルーバーのスイング運転の開始/停止をします



後面



前面



送風口

中にタテとヨコのルーバーがあります

送風口の右側半分から風が出ます

奥側 タテ(左右)

スイング運転用:

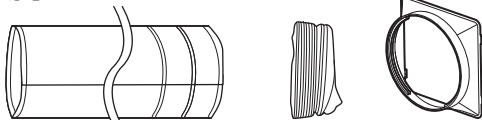
(⌚)スイングボタンで開始・停止)

手前側 ヨコ

上下風方向調節用(手動にて調節)

付属品

ダクトアタッチメント



排熱ダクト (布製 約1m) 排熱ダクト継手

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	取扱説明書（保証書含む）.....	1個
排熱用ダクト（排熱ダクト・排熱ダクト継手・ ダクトアタッチメント含む）.....	1個		

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

本体の設置

1. 本体を安定した水平な場所に設置する

本体下のベース部から出ている電源コードをうしろに出すようにして設置してください。

冷房運転を使用するときは、排熱用ダクトを取り付けて、排熱を部屋の外に出せる位置に設置してください。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを差すとピツと音が鳴ります。

冷房および除湿運転は、コンセントに電源プラグを差してから3分間以上経過してから行なってください。

3. 冷房機能を使用するときは、排熱用ダクトを取り付ける

排熱口に付属の排熱用ダクトを取り付け、排熱用ダクトの先が部屋の外に出すようにしてください。

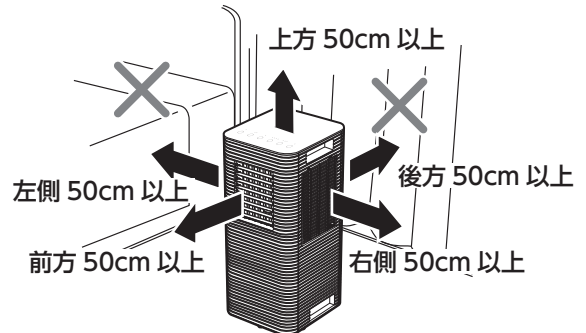
冷房機能を使用するときは、付属の排熱用ダクトを適切に設置して、排熱を部屋の外に出すようにしないと、室温が上がります。

※送風機能のみ使用する場合は、排熱用ダクトを取り付ける必要はありません。

本機は壁や周囲から適当な距離を保って設置してください

本機の設置は以下の点に注意してください。

- ・壁、寝具、カーテン、家具などから50cm以上離して設置してください。
- ・吸気口にカーテンなど貼り付いたり、家具などに冷風や熱風が直接当たると、それぞれ変色や変形・破損の原因になります。
- ・除湿時に排熱を利用するために洗濯物を近くに置く場合も、十分注意する必要があります。
- ・冷房機能を使用するときは、排熱口に排熱用ダクトを取り付けて、排熱を部屋の外に出すようにしてください。

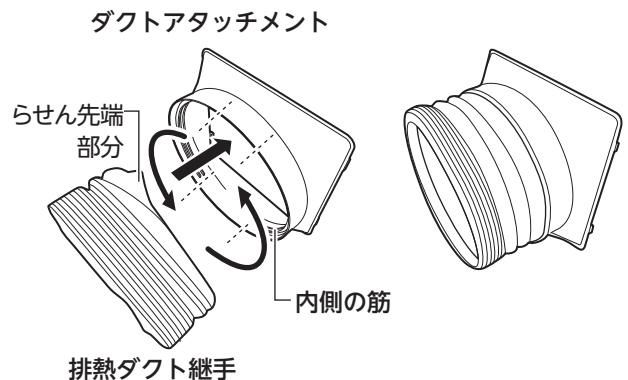


排熱用ダクトの組み立て

1. ダクトアタッチメントに排熱ダクト継手を取り付け、蛇腹部分を伸ばす

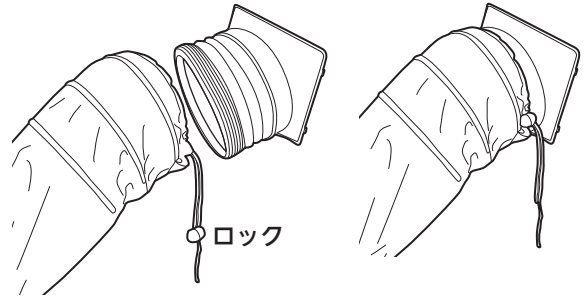
ダクトアタッチメント内側の筋の切れている部分に、排熱ダクト継手のらせん先端部分をはめ込み、排熱ダクト継手を2～3回反時計回りに回転させて取り付けます。

- ・排熱ダクト継手の蛇腹部分を少し伸ばすと、取り付けやすくなります。
- ・簡単にはずれないことを確認してください。



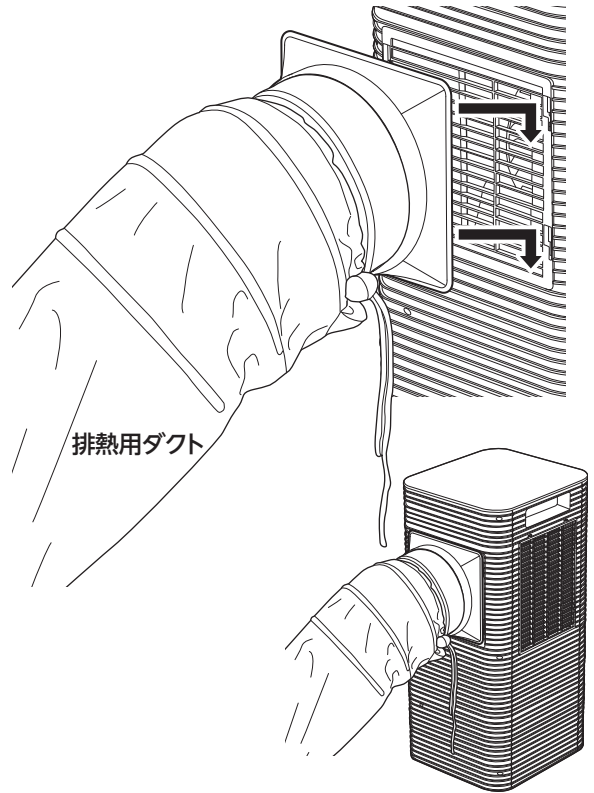
使用前の準備（つづき）

2. 排熱ダクト継手部分に排熱ダクトを取り付ける
ヒモをゆるめて排熱ダクトを取り付け、取り付けたあとは、ヒモを引っ張って、ロックではずれないようにしてください。



排熱用ダクトの取り付け

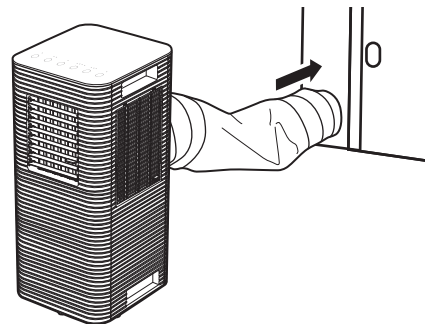
1. 本体の排熱口の凹みと、組み立てた排熱用ダクトの4つの突起部分を、右図のように組み合わせるようにして取り付ける



2. 排熱用ダクトの先端を部屋の外に出す

排熱用ダクトの先端部分を部屋の外などに出して部屋に排熱が入らないようにしてください。

- ・ 部屋に排熱が入ると、室温が上がる原因になります。
- ・ 排熱用ダクトの先端部分は、ヒモを引っ張らずに開いた状態にしてください。排熱ができなくなり、冷房能力が落ちる原因になります。



正しい使いかた

操作部

① 電源ランプ

運転のときに点灯します。

② 冷房ランプ (H・L)

冷房運転のときに強(H)・弱(L)が点灯します

③ 除湿ランプ (F 満水ランプ)

除湿運転のときに点灯、満水ランプは、水タンクの満水時に赤色点灯します

④ 切タイマーランプ (1H・2H・4H・8H)

切タイマーがはたらくまでの時間が点灯します

⑤ 送風ランプ (H・M・L)

送風運転のときに風量 強(H)・中(M)・弱(L) が点灯します

⑥ スイングランプ

送風口のルーバーが動いている(スイング運転)ときに点灯します

① ① 電源ボタン

運転の開始/停止をします

② ② 冷房ボタン

冷房の強運転(H)・弱運転(L)を設定します

③ ③ 除湿ボタン

除湿運転をします

④ ④ タイマーボタン

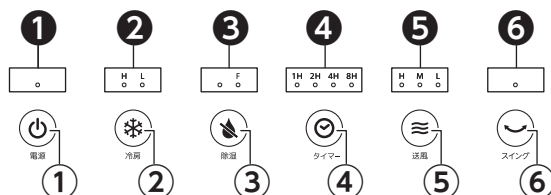
切タイマーの時間を設定します

⑤ ⑤ 送風ボタン

送風みの運転・風量の設定をします

⑥ ⑥ スイングボタン

送風口のルーバーのスイング運転の開始/停止をします



運転を開始/停止する

1. 運転を開始する

本体の①電源ボタンを押してください。

- ①電源ボタンを押してすぐ、冷房運転(強)が開始されます。
- 水タンクが正しく取り付けられていないと、満水ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。

冷房運転

2. 冷房の強弱を調節する

冷房は本体の②冷房ボタンで、強(H)・弱(L) 2段階に調節することができます。

- 運転中(送風運転や除湿運転をしているとき)に冷房運転に切り替えるときは、②冷房ボタンを押します。

送風運転

3. 運転中に⑤送風ボタンを押して送風機能を開始させる

送風機能は、本機を扇風機代わりに使用することができます。冷房機能を使用しないため、消費電力が少なくなります。

⑤送風ボタンを押してすぐに送風運転に切り替わりません。冷房運転・除湿運転の内蔵機器の運転が約3分続いたあと、送風運転に切り替わります。

減光モード

操作をしてから約 1 分経過すると、自動的に点灯しているランプが減光モードになります。再度、操作部のボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消灯モード

電源が入っている状態で、④タイマーボタンを長押し(3秒以上)すると、消灯モードが設定され、点灯するランプを消灯させることができます。※ただし、水タンクが満水になり、満水ランプが点灯するときは、消灯モードでも満水ランプは点灯し、運転停止します。

再度、操作部のボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消音モード

電源が入っている状態で、①電源ボタンを長押し(3秒以上)すると、ピッとブザーが鳴り、消音モードが設定され、それ以降のブザー音が鳴らなくなります。

再度、①電源ボタンを長押し(3秒以上)する、またはコンセントから電源プラグを抜くと消音モードが解除されます。

正しい使いかた (つづき)

除湿運転

4. 運転中に④除湿ボタンを押して除湿運転を開始させる

除湿運転は、本機を除湿機として使用することができます。

- 除湿した水は水タンクにたまります。水タンクがいっぱいになると満水ランプ (③F) が赤色に点灯してブザーが鳴り、運転を停止しますので、水タンクの水を捨ててください (「お手入れと保存」11ページ)。
- 排熱口を排熱用ダクトに接続していない場合、室温は上がります。室温を上げたくない場合は、冷房と同じように排熱用ダクトを取り付けて室外に排熱してください。

⚠注意

低い室温のとき (特に5℃以下) は除湿機能を使用しない。
冷やして除湿する方式のため、除湿能力が極端に落ちます。

5. 運転を停止する

本体の⑤電源ボタンを押してください。

- 運転していたそれぞれの動作ランプ (冷房・除湿・送風) が消灯します。
- 冷房・除湿運転をしていたときは、内蔵機器が停止し、送風運転を約3分間行なったあと、停止します。

⚠注意

本製品は内部機器保護のため、停止動作を開始したあと、最低約3分間は動作するため、動作停止 (電源ランプ消灯) するまで電源プラグをコンセントから抜かない。ファンの送風運転と合わせ、停止までに約6分間程度かかる場合があります。

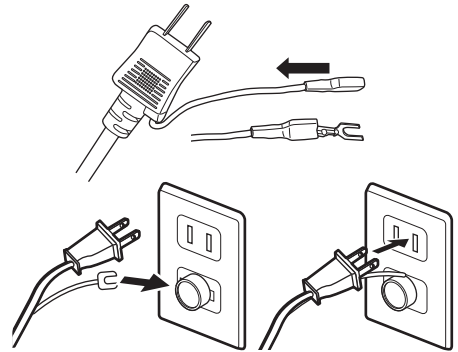
6. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

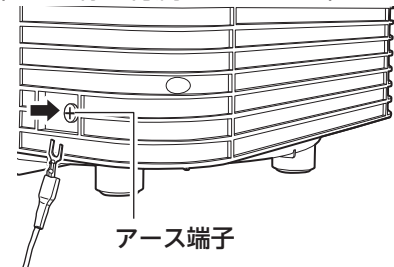
アースの接続

水蒸気が充満する場所や水気の多い場所で使用するときは、万一漏電したときに起こる感電を防止するため、電源プラグのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。



アース端子の使用

近くのコンセントにアース端子がない場合、市販の長いアース線を本体後面のアース端子に接続してください (アース線は付属していません)。



アース端子にあるネジをゆるめて、接続します。

⚠注意

- アースは電源プラグより先に取り付け、電源プラグのあとに取りはずす。順番を間違えると、感電の原因になります。
- アースがない場合は販売店に相談する。アース端子のあるコンセントまで遠い場合は、市販の長いアース線を使用することもできます。

以下の場所で使用するときは、アース工事 (D 種接地工事) が法律で義務付けられています。

- 湿気の多い場所 (厨房、土間、醸造所・貯蔵施設など)。
- 水気のある場所 [漏電遮断機も設置] (水滴の飛び散る場所、結露の発生しやすい場所など)。
- アース線を正しく接続しない使用が原因の事故や破損は保障の対象外となります。

⚠警告

- アース線の取り付けで、専用のアース線以外 (ガス管・水道管・電話線・避雷針のアース線など) には絶対に接続しない。引火や爆発、落雷時の感電、アース機能しないなどの原因になります。
- アース端子までの距離が長い場合、別のアース線で延長せず、市販の長いアース線を使用する。延長接続部分がとても危険です。

切タイマーを設定する

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中に◎タイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に◎タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。

切タイマーの動作時間は◎タイマーボタンを押して設定することができます。

- ・タイマーランプを確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- ・タイマーランプは切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

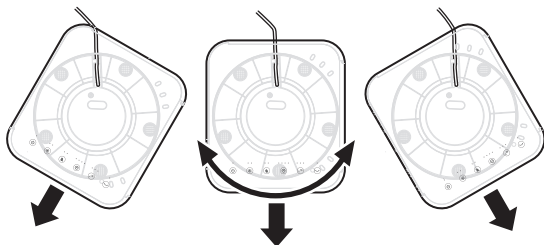
2. 切タイマーをキャンセルする

◎タイマーボタンを何度か押して、タイマーランプを消灯させます。

本体角度の調節

本機はベース部の電源コードが出ている部分を中心に左右約50°ずつ角度調節ができます。

調節できない角度のときは、本体を持ち上げて、ベース部の角度を変更してください。



注意 ベース部に電源コードをはさまない。本体に電源コードを巻き付けない。火災・故障の原因になります。

スイング運転を開始／停止する

☺スイングボタンを押すと、本体送風口の内部のルーバーが左右にスイング運転を開始します。

- ・操作部の「スイングランプ」でスイング運転の確認をすることができます。

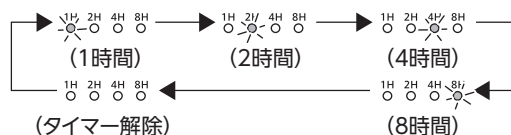
スイング運転のメモリー機能

ルーバーのスイング運転は、メモリーされており、次回使用時に同様に動作します。

- ・電源プラグをコンセントから抜くと、メモリーは消去され、次回使用時スイング運転は停止状態になります。

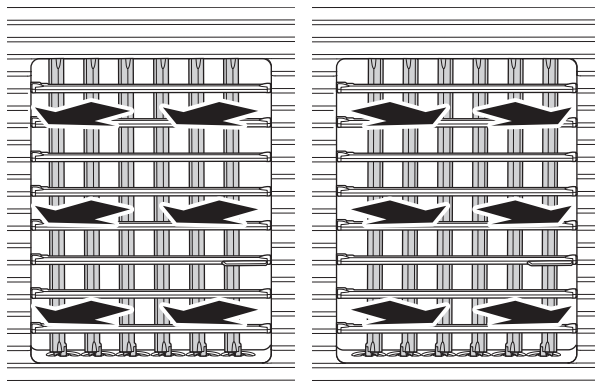
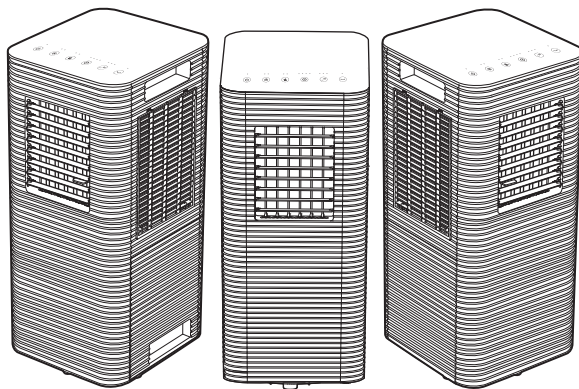
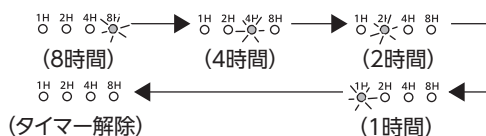
タイマーランプについて

タイマーランプは、◎タイマーボタンを押すごとに下のように点灯ランプが切り替わります。



※タイマーをキャンセルするには、◎タイマーボタンをタイマーランプが消灯するまで、何度か押します。

タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーが作動するまでの時間を表示します。



正しい使いかた（つづき）

本機の空気の流れ

冷房運転

左右の吸気口から取り込んだ周囲の空気①が本体内で冷やされます。

空気を冷やすしくみ

コンプレッサーによって気体に圧力をかけて圧縮すると高温になって液体に変化し、液体が気体に戻るとき、周囲から熱を奪う

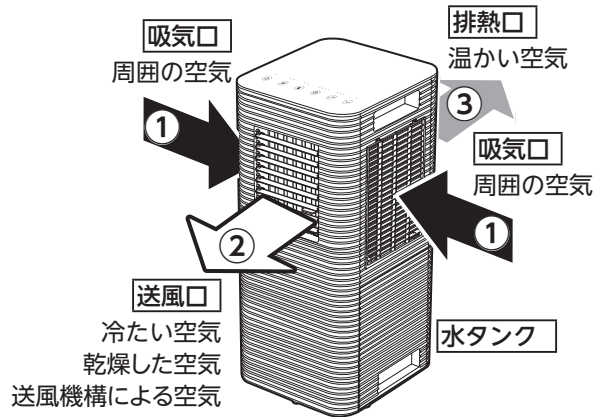
冷やされた空気を送風口から出る②と同時に排熱口から温かい空気が出ます③。

除湿運転

左右の吸気口から取り込んだ湿った周囲の空気①を冷房同様に本体内で冷やし、結露させて水滴にします（水タンクにたまる）。乾燥した空気を送風口から出し②、同時に排熱口から温かい空気が出ます③。

送風運転

左右の吸気口から取り込んだ空気①を、そのまま送風機構を使って送風口から送風しています②。排熱口から温かい空気は出ませんが③、モーターの熱のために多少温かくなることがあります。本機は、左右の吸気口から取り込んだ空気を本体内



で処理しているため、特に吸気口のお手入れはこまめに行なってください。
また水タンクに水がたまっている状態では異臭の原因になりますので、水タンクもこまめにお手入れしてください。

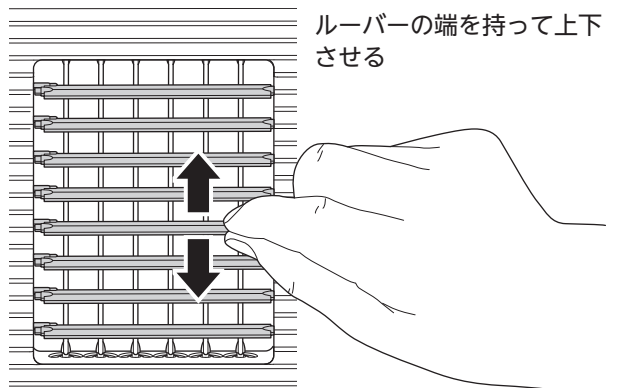
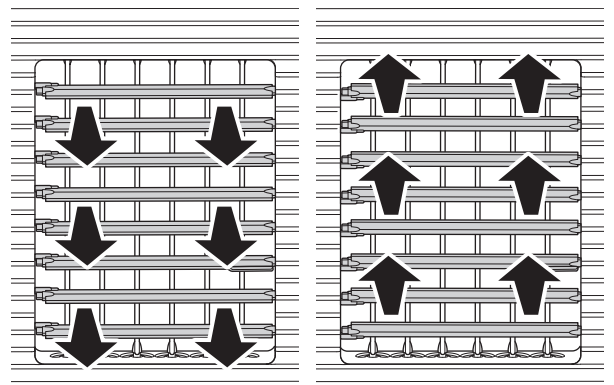
上下の風向き調節

送風口内部の上下向きルーバーは手動で調節します。



壊れてしまうため、絶対にやらないこと

- スイング運転中に無理に左右ルーバーの向きを変えない。触れない
無理に向きを変える・触れると破損・故障・異音などの原因になります。
- ぬれた手でルーバーを調節しない。
感電・火災・故障の原因となります。



お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください（感電・故障の原因になります）。

吸気口のお手入れ

部屋の空気を本機に取り入れるときに、ほこりなどを一緒に吸い込むため、吸気口にある吸気口フィルターは定期的にお手入れしてください。

吸気口フィルターの取りはずし

- ① 本体左右の吸気口にある、吸気口フィルターを取りはずしてください（上部2つのロックつまみをはずします）。
- ② 吸気口フィルター両面を掃除機などできれいにします。
- ③ 汚れがひどいときは、吸気口フィルターを水洗いすることもできます。

吸気口フィルターの取り付け

- ④ 取り付けるときは、本体の取付穴に吸気口フィルター下部の突起を取り付けます。
- ⑤ 上部ロックつまみ2つを取り付けてください。吸気口フィルター左右が浮いていることがあるので、ツメを押して本体に密着させてください。

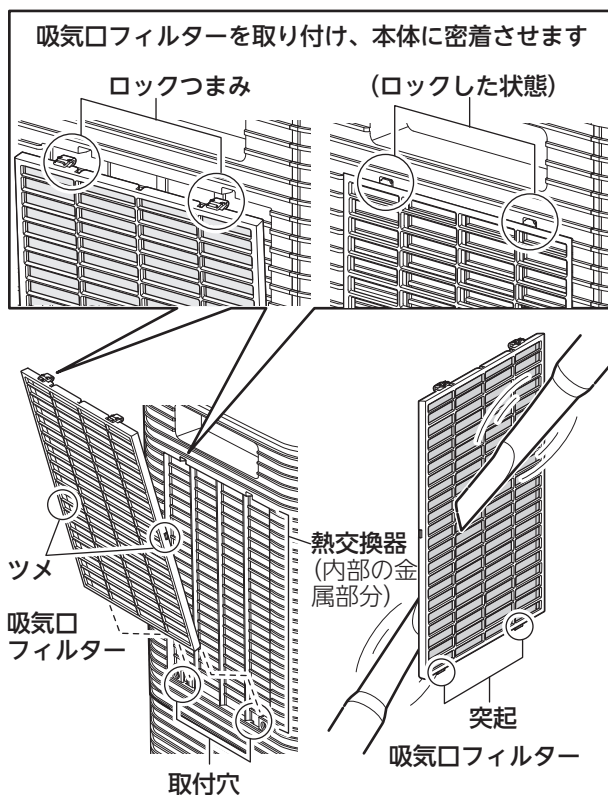
本体以外の吸気口フィルター・水タンク・水タンクフタは丸洗いすることができます。丸洗い後は、十分に乾燥させてください。



- 吸気口フィルターを取り付けずに運転をしない。
異物が入り、故障・異音・事故の原因になります。
- 熱交換器（放熱用アルミフィン）には触れない。
皮膚に悪影響やけがの原因になります。
また変形すると効率が悪くなります。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください（強くこすらないでください。傷がつく原因となることがあります）。



交換用フィルター

商品名 吸気口フィルター
型番 PFT-SCY01

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ** 
DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで
<https://www.doshisha-marche.jp/>



ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（→裏表紙）へお問い合わせください。

お手入れと保存（つづき）

水タンクのお手入れ

水タンクは、使用後には満水にならなくても、毎回水を捨ててお手入れをしておいてください。水が入ったまま放置すると、異臭などの原因になります。

1. 水タンクを取り出して水洗いをする

水タンク・水タンクフタを水洗いして、十分に乾燥させてください。

2. 水タンク内のフロートが動くことを確認する

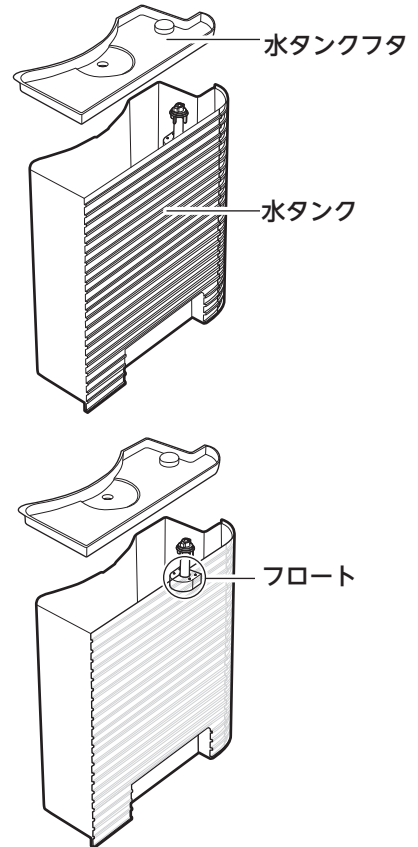
水タンク内にある、白色のフロートを確認してください。

このフロートが水に浮き、上に行くことで水が満タンになったことを検知します。

3. 水タンクフタを取り付けて、本体に取り付ける

取り出したときのように、本体に取り付けてください。

水タンクを正しく取り付けないと、電源が入りません。



本体排水口のお手入れ

本体の水タンクの上にある、排水口のつまりをふせぐため、1か月に1度、水タンクをはずして、綿棒などで本体の排水口のお手入れをしてください。

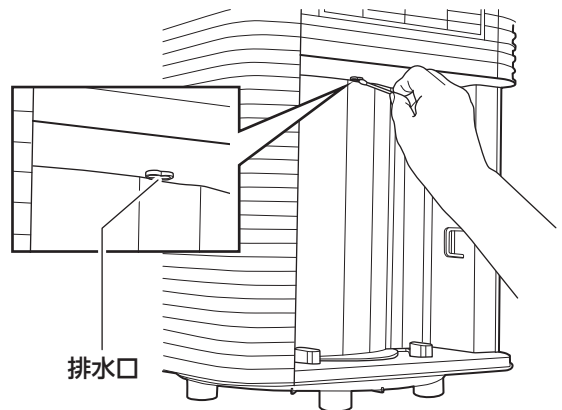
本体の持ち運び

本体両脇にある取っ手を両手で持って持ち運びをしてください。

- 床に置くとき、電源コードにのせないように注意し、電源コードが出ている場所を本体後方にしてください。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ホコリなど付かないようにポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 箱がない場合も同様に、ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の人 は 分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通		
電源が入らない	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	水タンクが正しく取り付けられていない	水タンクを正しく取り付ける
	水タンクに水がたまっていて満水になっている	水タンクの水を捨てる
異音がする	正しく排気用ダクト・吸気口フィルターが取り付けられていない	正しく排気用ダクト・吸気口フィルターを取り付ける
	設置場所が安定していない	水平な安定した設置場所に変える
	水が流れるような音、カタカタという音、ブーン・ジーという音	問題ありません（本機内部に流れる冷媒の音、制御弁の音、内蔵機器の音）
冷房運転		
運転しているが冷たい風が出てこない	すでに運転停止していて、停止までの送風運転になっている	運転停止を待ち、再度電源を入れる
	室温が低く（14℃以下）霜取りのため運転停止、停止までの送風運転になっている	室温を上げ、運転停止を待ち、再度電源を入れる
	室温が高く（43℃以上）運転停止、停止までの送風運転になっている	室温を下げ（直射日光を避けるなど）、運転停止を待ち、再度電源を入れる
	切タイマーにより、設定した時間になり、停止までの送風運転になっている	故障ではありません 運転停止を待ち、再度電源を入れる
	本機周囲の距離が近すぎる	周囲を広くあげてください
風量が少ない	吸気口フィルターが汚れている	吸気口フィルターをお手入れする
	排熱用ダクトが閉じられている	排熱用ダクトを開いて排熱できるようにする
	ルーバーのすき間が少ない状態になっている	ルーバーのすき間調節をしてすき間を作る
突然運転が止まる（送風運転になる）	切タイマーにより、設定した時間になり、停止までの送風運転になっている	故障ではありません
運転開始から数分後本体がゆれる	コンプレッサーが動作開始するときの振動で一瞬ゆれます	故障ではありません
冷房運転なのに水タンクに水がたまる	冷房も環境によって水がたまる場合があります	故障ではありません
送風口に霜が付く	環境状態によって霜がつくことがあります	故障ではありません 霜が続く場合は冷房をやめてください
運転中なのにランプが点灯していない	◎タイマーボタンを長押しして消灯モードにしている	消灯モードをキャンセルする
部屋の温度が上がっている	排熱用ダクトを正しく取り付けしていない	排熱用ダクトを正しく取り付ける
	排熱用ダクトの先を室外に出していない	排熱用ダクトの先を室外に出す
	排熱用ダクトを扉で挟む・物をのせるなどして排熱されていない	排熱用ダクトを正しく取り付ける（5ページ参照）
	吸気口フィルターが汚れている	吸気口フィルターをお手入れする

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
送風運転		
風量が少ない	吸気口フィルターが汚れている	吸気口フィルターをお手入れする
	本機周囲の距離が近すぎる	周囲を広くあけてください
送風運転に切り替わらない	冷房・除湿運転から切り替わるのに約3分かかります	約3分待つと送風運転になります
	電源を入れると冷房運転になるため、すぐに切り替えても約3分かかります	約3分待つと送風運転になります
除湿運転		
除湿能力が低下した	低い室温で使用している (さらに低い温度にして除湿する仕組みなので低い温度では除湿能力が低下します)	高い室温で除湿運転をする
	吸気口フィルターが汚れている	吸気口フィルターをお手入れする
水がもれる	水タンクフロートの下に固定されている	水タンクフロートが動くようにする
	設置している場所が傾いている	水平な場所に設置する

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

廃棄するときは **冷媒に関する注意**

この製品は特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用機器ではありません。
CO₂(温暖化ガス)290kgに相当するフロン類が封入されています。
地球温暖化防止のため修理、廃棄等にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。
お住いの地域の方法に従い廃棄してください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により発火・けがなどの事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行なっています。

	[製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります)
	[設計上の標準使用時間] (本体に表示してあります)
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

- ※ 下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ※ 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件〈JIS C9921-3による〉

環境条件	電圧	AC 100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	冷房室内温度	27℃ (乾球温度)	
	冷房室内湿度	47% (湿球温度19℃)	
	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による
	負荷条件	木造平屋、南向き和室、居間	
想定時間	1年間の使用日数	112日間	東京モデル
	1日の使用時間	9時間/日	
	1年間の使用時間	1,008時間/年	

アフターサービスについて

製品についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

【受付時間】 9:00～17:00（祝日以外の月～金曜日）

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

